

さくらマップ

2月下旬～3月上旬



56 河津桜



60 カンヒザクラ
(寒緋桜)

3月中旬～3月下旬



20 マメザクラ
(豆桜)



46 乙女東彼岸

3月下旬～4月上旬



1 染井吉野



10 伊豆吉野



11 思川



37 オオシマザクラ
(大島桜)

4月上旬～4月中旬



39 陽光



44 仙台屋



13 大提灯



42 鬱金



6 普賢象



25 松月



29 関山



32 松前新珠

4月中旬～4月下旬



35 金輪寺白妙



45 嵐山



22 六高菊桜



31 作並菊桜



広島市植物公園 さくら植栽リスト

植物名または品種名	読み	開花時期 (目安)	特徴	位置図 番号
浅黄	あさぎ	4月上旬 ～4月中旬	鬱金よりも淡い花色のもの。鬱金と同一との見解もある。	47
旭山	あさひやま	4月上旬 ～4月中旬	矮性の桜で、若木のうちからよく咲く。盆栽や鉢植え向き。ピンク色の半八重咲き。	19
天の川	あまのがわ	3月下旬 ～4月上旬	枝は横に張らず上に向かって伸び、花も上を向いて咲く。	54
嵐山	あらしやま	4月上旬 ～4月中旬	サトザクラの栽培品種。花弁は大きな円形で質が厚く、緑の色が濃い。	45
有明	ありあけ	3月下旬 ～4月上旬	サトザクラの栽培品種。薄い淡紅色の花弁は大きく皺がある。通常は5枚だが、それ以上になることもある。	40
伊豆吉野	いずよしの	3月下旬 ～4月上旬	エドヒガンとオオシマザクラの種間雑種。広く栽培されているが、伊豆半島で自生が見られる。	10
一葉	いちよう	4月上旬 ～4月中旬	サトザクラの栽培品種。淡紅色の花色で八重咲き。めしべが通常1本で葉化することがある。	9
糸括り	いとくり	4月上旬 ～4月中旬	江戸時代から知られている品種で、長い小花柄があり7～8個の半八重の花が咲く。	50
鬱金	うこん	4月上旬 ～4月中旬	独特の淡い黄緑色の花色は、染料のウコンにたとえられる。欧米でも人気があり、よく植えられている。	42
エドヒガン(江戸彼岸) 原種	えどひがん	3月中旬 ～3月下旬	北海道と沖縄を除く日本全国に分布。花期が早く、長命で大木になるものが多い。(うらら池東岸にもあり)	58
大寒桜	おおかんざくら	3月中旬 ～3月下旬	埼玉県川口市の安行から広められたので「安行寒桜」とも呼ばれている。	59
オオシマザクラ(大島桜) 原種	おおしまざくら	3月下旬 ～4月上旬	伊豆大島に多い。白花、緑葉が標準形。サトザクラのもとになった重要な野生種。桜餅の葉に使われる。花の進化園の最上部にもある。	37
大提灯	おおちょうちん	4月上旬 ～4月中旬	長い小花柄で提灯のようにぶら下がってつくだこの名前がついた。	13
オオヤマザクラ(大山桜) 原種	おおやまざくら	3月下旬 ～4月上旬	花が紅色なので「紅山桜(べにやまざくら)」と呼ばれ、北海道にも多いことから「蝦夷山桜(えぞやまざくら)」とも呼ばれている。	17
乙女東彼岸	おとめあずまひがん	3月中旬 ～3月下旬	エドヒガンに似ているが、花弁の切り込み少し深い。玉咲きになる。エドヒガンの花付きの良い選抜株。	46
思川	おもいがわ	3月下旬 ～4月上旬	ジュウガツザクラの血を引くと言われている。小輪ながら枝を覆い尽くすほどに咲く。	11
カスミザクラ(霞桜) 原種	かすみざくら	4月上旬 ～4月中旬	小花柄などに毛がある場合が多く、別名「毛山桜(けやまざくら)」とも呼ばれている。ヤマザクラより開花が遅い。	18
狩衣	かりきぬ	3月下旬 ～4月上旬	白色一重咲きで、サトザクラのシラユキによく似ている。	43
河津桜	かわづざくら	2月下旬 ～3月上旬	濃い淡紅色で大きな花が咲く。カンヒザクラとオオシマザクラの雑種と考えられている。静岡県の河津に原木がある。	56
寒桜(晩咲き性)	かんざくら	2月下旬 ～3月上旬	カンヒザクラとヤマザクラの種間雑種と考えられる。サクラの栽培種の中では最も早くから開花。	55
寒桜(早咲き性)	かんざくら	3月上旬 ～3月中旬	カンヒザクラとヤマザクラの種間雑種と考えられる。サクラの栽培種の中では最も早くから開花。	62
関山	かんざん	4月上旬 ～4月中旬	荒川土手に栽培されていたもの。花が大きく、花弁は20～45枚。2本のめしべは葉化する。	29
カンヒザクラ(寒緋桜) 原種	かんひざくら	2月下旬 ～3月上旬	日本では石垣島に自生。花が赤く、下向きに咲き開花が早い。寒さには弱い。	60
祇女	ぎじょ	4月上旬 ～4月中旬	京都嵯峨中院に自生のものを祇王寺に移植。祇王の妹、祇女に因み命名。ヤマザクラ系で八重咲き、淡紅色。	28
御衣黄	ぎょいこう	4月上旬 ～4月中旬	淡い緑色の花色が特異で、広く栽培されている。花弁に緑色の筋模様が入る。	38
麒麟	きりん	4月上旬 ～4月中旬	カンザンに似ているが成長が遅く、幹がごつごつしている。	33
熊谷桜	くまがいざくら	3月中旬 ～3月下旬	キンキマメザクラが重弁化し、めしべが2個となった花が多く出る。小型で早咲き。	61
啓翁桜	けいおうざくら	3月中旬 ～3月下旬	切り花としてよく用いられる。カンヒザクラとシナミザクラの種間雑種と考えられている。	41
兼六園菊桜	けんろくえんきざくら	4月中旬 ～4月下旬	花弁の数が最も多い品種で350枚以上ある。原木は石川県の兼六園にあり、国の天然記念物だったが枯死した。	14
越の彼岸桜	こしのひがんざくら	3月中旬 ～3月下旬	富山県城端に自生があり、移植された株が高岡城跡などで見られる。コヒガンによく似ているが、雌しべに毛がある。10m以上に大きく育つ。	4
子福桜	こぶくざくら	秋～春咲き	春と、秋から冬にかけての2回咲く。シナミザクラが片親。白色八重咲きで小花柄は短い。	15
小松乙女	こまつおとめ	3月下旬 ～4月上旬	エドヒガン系の栽培品種。原木は、東京都の上野公園の小松宮銅像付近にある。一重咲きの淡紅色。	30

植物名または品種名	読み	開花時期 (目安)	特徴	位置図 番号
金輪寺白妙	こんりんじしろたえ	4月上旬 ～4月中旬	花色が白とされている文献があるが、当園の株は桃色の八重で、中心部付近の花弁はねじれるようにつく。	35
作並菊桜	さくなみきざくら	4月中旬 ～4月下旬	花弁の多い菊桜の一つで、4月中旬に淡紅色の花が咲く。	31
佐藤染井	さとうそめい	3月下旬 ～4月上旬	ソメイヨシノの枝変わり品で色が濃い。広島市の佐藤文雄氏が2005年に登録した新品種。	8
三波川冬桜	さんばがわふゆざくら	秋～春咲き	オオシマザクラとマメザクラの種間雑種と考えられる。10月頃より翌春まで咲き続ける。	52
支那実桜	しなみざくら	3月中旬 ～3月下旬	暖地桜桃(だんちおうとう)・唐実桜(からみざくら)ともいい、受粉樹がなくてもよく実がつく。果実は食べられる。(展示資料館裏)	64
十月桜	じゅうがつざくら	秋～春咲き	春だけでなく、秋にも咲く珍しい半八重のサクラ。マメザクラとエドヒガンの交雑種と考えられている。	5
修善寺寒桜	しゅぜんじかんざくら	3月中旬 ～3月下旬	カンヒザクラとオオシマザクラの種間雑種と考えられる。樹高が10mを超えるような大木になる。	57
春月花	しゅんげつ	3月中旬 ～3月下旬	ケイオウザクラを八重咲きに改良した品種で、春に月のように輝く花になって欲しいことから名付けられた。(カスケード)	63
松月	しょうげつ	4月上旬 ～4月中旬	葉色は緑色が強く、先端は著しく糸状に伸びる。花色は淡く上品。	25
上旬	じょうにおい	3月下旬 ～4月上旬	東京都の荒川堤に栽培されていた品種。花に強い芳香がある。(香りの小径)	24
昭和桜	しょうわざくら	4月上旬 ～4月中旬	国立遺伝学研究所の竹中要博士が、大島公園(伊豆大島)のソメイヨシノの実生から育成し、1959年に名付けた。一重で花色は白。	12
西洋実桜	せいようみざくら	4月上旬 ～4月中旬	萼片が反り返るのが特徴。古くから果実を食べる目的で栽培されており、有名な佐藤錦もこの種から作られている。	21
仙台屋	せんだいや	3月下旬 ～4月上旬	ヤマザクラの栽培品種。紅色の花を持つ。原木は高知市の仙台屋という商家の前にあった。	44
染井吉野	そめいよしの	3月下旬 ～4月上旬	エドヒガン系とオオシマザクラ系の種間雑種と考えられている。日本で最も有名なサクラ	1
タカネザクラ(高嶺桜) 原種	たかねざくら	3月下旬 ～4月上旬	別名「峰桜(みねざくら)」とも呼ばれ、1500m以上の亜高山帯に見られる。小花柄に毛がない。	23
チシマザクラ(千島桜) 原種	ちしまざくら	3月下旬 ～4月上旬	高嶺桜より早咲き。葉の柄や花の萼付近に毛が生えている。	26
広島江波山桜	ひろしまえばやまざくら	3月下旬 ～4月上旬	山桜の一種で、5～13枚もの花びらをつける。原木は江波山にあり、広島市の天然記念物に指定されている。	16
普賢象	ふげんぞう	4月上旬 ～4月中旬	2本のめしべを象の鼻に見立てた名前。室町時代からあると言われる古い品種。	6
紅枝垂	べにしだれ	3月中旬 ～3月下旬	エドヒガンの枝垂れ型のなかで花色が濃い品種。大木になるものが多い。八重紅枝垂より早咲き。	36
紅豊	べにゆたか	3月下旬 ～4月上旬	北海道松前町において浅利政俊が作出した、高砂系(チョウジザクラの関与が推定される)のサトザクラ。	53
舞姫	まいひめ	4月上旬 ～4月中旬	公益財団法人日本花の会が創立50周年を記念して作出した品種。エドヒガン系の八重咲で花弁は約15枚。	65
松前新珠	まつまえあらたま	4月上旬 ～4月中旬	1967年に選抜された品種。花弁は30枚前後、淡い紅紫色がかわいらしい。	32
マメザクラ(豆桜) 原種	まめざくら	3月中旬 ～3月下旬	富士山周辺でよく見られ「富士桜」とも呼ばれている。小さくても開花するため盆栽としてもよく用いられる。	20
水上	みなかみ	4月上旬 ～4月中旬	花序は短く、花は白色で小さいがたくさんの花を咲かせる。	49
三春滝桜(紅枝垂)	みはるたきざくら	3月中旬 ～3月下旬	福島県三春町の三春滝桜の苗木を植栽。品種はベニシダレ。	27
八重曙	やえあけぼの	4月上旬 ～4月中旬	サトザクラの栽培品種。花弁数は約12枚、福祿寿によく似る。	51
八重紅大島	やえべにおおしま	4月上旬 ～4月中旬	花弁は20～30枚。オオシマザクラとサトザクラの交雑種ではないかと考えられている。	48
八重紅枝垂	やえべにしだれ	3月下旬 ～4月上旬	エドヒガン群に属する。開花期が長く、人気が高い。仙台や京都に多く植えられているといわれる。	34
八重紅虎の尾	やえべにとらのお	4月上旬 ～4月中旬	「江戸」「東錦」と呼ばれている桜と同じ栽培品種に分類される。	7
八重紅彼岸	やえべにひがん	3月下旬 ～4月上旬	マメザクラとエドヒガンの種間雑種と考えられる。小彼岸の花が八重咲きになったもの。	3
ヤマザクラ(山桜) 原種	やまざくら	3月下旬 ～4月上旬	白い花と同時に赤褐色の若芽が伸びる。ほぼ日本中に分布している。開花期など変異が多い。	2
陽光	ようこう	3月下旬 ～4月上旬	「天城吉野(あまぎよしの)」と「寒緋桜(かんひざくら)」の交配種で、1981年に登録された品種。平和への願いを込めて作出された。	39
六高菊桜	ろっこうきざくら	4月中旬 ～4月下旬	岡山の第六高等学校に栽培されていた。開花時には新芽が展開している。	22